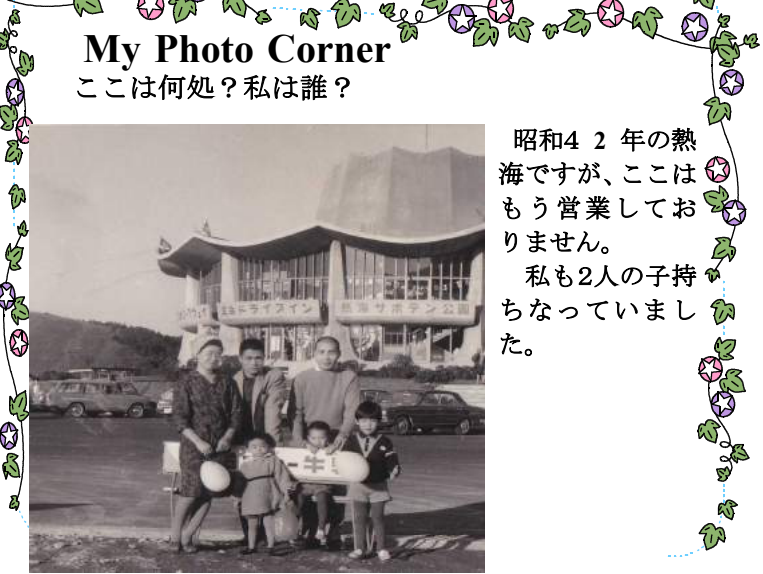




HAPPY BIRTHDAY

10月3日 鈴木 健之君

MENETTES HAPPY BIRTHDAY

該当者ございません

WEDDING ANIVERSARY

10月12日 藤井 銀次郎君・正子さん

熱海YMCA俳句九月句会

兼題 無し

明日知らぬ虫延々と時きぞみ
さつま飯兄と二人の終戦日
鯉乳と紅茶に入れし秋の昼
甘藷煮ても焼いても天の味
八十路越へずと眺むる秋の月
法師蟬窓の網戸に爪たてし
名月に想ひぬぐらし詩響く
水仙やまなき庭に香をこぼし
台風に流されてゆく旅ごころ心
売地れに絡んでよりぬ葛の花

のり夫 隆吉 道子 銀次郎 正子 治 ひろし 裕保 政ひろ 和子

第4回 役員会 報告

書記 宝田昌孝

2018年10月2日(火) 熱海YMCAセンター

勝又会長挨拶:

9月例会は、卓話の内容も充実して良い例会でした。

議題

1 今後の事業計画について

ライフ熱都(ネット)とCS事業関わり方についての提案が有りました。

* 委員会報告

プログラム:例会プログラムの通り

ドライバー:富士山部部会

は台風24号の為、開催を延期

会報・広報:

校正16日(火)19時、発送17日(水)

親 睦:

特に無し

CS・TOF:

10月27日(土)センター清掃:7時集合

学童野球:賞品代金 78,300 円(税込) 承認

YMCA・ASF・EMC・会則:

特に無し

BF・EF・IBC・DBC・YEPP:

DBC クラブとの懇親会の日程等について年明けに打合せをする。

出席者:

勝又、宝田、藤間、小野田、陣内、菅谷、加藤綾野、高橋敏 (9名)

今後のイベント情報

◎10月27日(土) YMCA センター清掃 : 7時集合

終了後 軽食あり

◎12月 1日(土)第41回富士山部役員会・評議会

懇親会 受付時間:10時30分～

場所:ニューウエルサンピア沼津: 登録費 6 千円

2018年 11月 合同例会担当予告

例会 11月26日(水) 会場 KKRホテル熱海

受付 中田 稔君 小野田 政弘君

司会 熱海クラブ 開会の祈り熱海クラブ

ワイズの信条 熱海クラブ 食前の祈り熱海クラブ

閉会の言葉 藤間 孝夫君

"To ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT" (International Motto)

THE SERVICE CLUB OF THE Y M C A

INTERNATIONAL

THE Y'SMEN'S CLUB OF

Atami Glory

2018

19

No.410

CHATERED 2.May.1984

P.O.BOX 44ATAMI 熱海郵便局私書箱44号

国際会長主題

"Yes ,We can change "

『私たちは変えられる』

東日本区理事主題

『為せば、成る』

" No challenge,NO fruit"

今月の聖句

惜しんでわずかしか種を蒔かない者は刈入れもわずかで、惜しまず豊かに蒔く人は刈入れも豊かです。

コリントの手紙9章5節

アジア地域会長主題

"Action"

『アクション』

富士山部部長主題

『生き活き!ワクワク!仲間と共に!』

クラブ会長主題

『奉仕は、元気で仲良く』

"The Service with Lively and Friendly"

2018年度10月例会プログラム

日 時

10月 24日(水) 18:30~21:00

会場

熱海YMCAセンター

受付

綾野 憲夫 君 池島 恒夫 君

司 会

加藤 博 君

開会点鐘

会 長 勝又 隆吉 君

聖句朗読・開会の祈り

高橋 敏雄 君

ワイズソング

全 員

ワイズの信条

藤曲 敬宏 君

会長挨拶・ゲスト・ビジター紹介

会 長 勝又 隆吉 君

書記報告

書 記 宝田 昌孝 君

委員会報告

担当委員会 陣内 康策 君

食前の祈り

会 食

誕生日・結婚記念日祝

司 会 者

卓 話

親睦委員会

スマイル

担当委員会

出席・スマイル・Y基金報告

鈴木 規雄 君

閉会の言葉

会 長 勝又 隆吉 君

閉会点鐘

誕生日祝いは、2日藤井銀治郎君、19日は加藤博君で会長から誕生日祝いの花が贈呈されました。

卓話者は、郷土史研究家で熱海街歩きガイドの会会員の片山真人様です。片山様の本職は、寿司伝道師を自認する寿司職人で熱海ガスの教室で講師等もされています。

9 月 例 会 実 績			
在籍者 17 名	(内セニア会員 1 名)	スマイル&YMCA 基金	BF 目標 1 人 8,000pt
出席者 13 名	ゲスト 1 名	スマイル 16,000 円	現金 pt 切手 P
メーキャップ 名	ビジター 3 名	スマイル累計 120,000 円	9月 13,000円
出席率 80%	メネット 0 名	YMCA 基金 2,160 円	累 計 44,000 円
月訂正出席率 %	出席者合計 14 名	YMCA 基金累計 13,181 円	総 計 円

例会日・毎月第4水曜日18:30~21:00

KKRホテル熱海

☎ 0557-85-2000

※熱海YMCAセンター

☎ 0557-82-8521

勝又会長 西山町26-3

☎ 0557-82-3588

沢山の資料と話に皆が聞き入り、最後の質問時間には多賀のそば屋「蕎麦処多賀」には移築に携わったブルノータウトがデザインした椅子が屋根裏にあることや、陣内康策君は網代駅の名誉駅長をしていることから片山真人さんに駅舎の案内用看板の協力をお願いをするなど多岐にわたる発言があり、大いに盛り上がりました。

そして勝又会長から片山さんに御礼の品が渡されました。その後、親睦委員会のスマイル、Y 基金が行われ閉会の言葉を小野田、閉会点鐘を勝又会長が行い、無事、定時に9月例会が終了致しました。



網代ブリの大盤振る舞い



羽柴右近の刻印のある石
(森蘭丸の弟 岡山津山城主)



搬出機材の模型

富士山部の一年 「生き生き仲良し」に貢献できたか？

富士山部・前書記 陣内康策

先月の部報発行をもって富士山部の業務が終わりましたが、アッという間の1年間でした。

今から2年程前、第40代富士山部長に熱海グローリーから加藤博ワイズの推薦が決定されたことを受け、総務担当として、書記・陣内康策、会計・小野田政弘、副会計・綾野憲夫ワイズの体制が決定しました。事業主査の担当として、地域奉仕・金光京子（御殿場）、会員増強・久保田康正（伊東）、国際交流・鈴木忠雄（三島）、ユース・伊藤一芳（富士宮）ワイズの体制が決定、2017年7月1日（日）開催の富士山部第1回評議会で承認され、加藤博部長年度の執行体制が発足しました。

◎執行体制の充実を図るための就任前研修

- ① 2017年1月 富士山部主催次期役員打合せ会（熱海）
- ② 2017年3月 東日本区主催次期役員研修会（東山荘）
- ③ 2017年5月 富士山部主催次期役員研修会（熱海）

◎発足後の役員会・評議会・部会の開催

- ① 2017年7月 第1回富士山部役員会・評議会（熱海）
- ② 2017年9月 富士山部部会・親睦会（熱海）

- ③ 2018年1月 第2回富士山部役員会・評議会（熱海）
- ④ 2018年5月 第3回富士山部役員会・評議会（沼津）

◎反省点

①事業主査の活動を支援する会合を開催できなかった。

②クラブ会長の活動を支援する会合を開催できなかった。

①部報発行を2回計画したが、1回しか発行できなかった。

熱海グローリーのみなさまには、第40回富士山部会の開催を始め各種事業へご協力をいただき大変有難うございました。



茨城 YMCA 訪問記

熱海 YMCA 運営委員 鈴木健之

熱海 YMCA 理事運営委員会を兼ねて10月4日(木)茨城 YMCA を森重雄理事長以下9名で訪問。

先方との約束時間 11:00AM。熱海 YMCA センターを二コー自動車のバスにて 7:30 出発、熱海駅、アミテック等から同乗者があり、時刻通り出発、一路茨城 YMCA へと向かいました。

道路の混雑とドライバーの疲労回復との兼ね合いで、途中一度の休みだけで 10:50、宮田康男総主事、常務理事他数名の出迎えを受けて到着。

早速会議室へと案内され、両 YMCA メンバーの代表より紹介され、本題へと入りました。

宮田総主事より、茨城 YMCA の歴史書類等において幼児、小・中・高・大生・海外 YMCA との交流の説明があり、一同その内容に感激しながら聞き入り、あっという間の一時間が過ぎてしまいました。そしてそこから徒歩5分ほどの所に素晴らしい国際会議場があり、その食堂に於いて昼食を済ませた後、YMCA 会館を案内いただきました。

正職員27名他アルバイト等のスタッフに於いて幅広いプログラムを展開して YMCA に貢献されていることに感謝の気持ちがいっぱいです。各自にお土産まで頂戴し、申し訳なく思いながら、近代的な素晴らしい街つくば市を 14:30、有難うと云いながら帰路につきました。

途中一か所見学の予定がありましたが、道路の混雑等を考慮して一路熱海へと向かい、17:30 センター着。心配された天候も気にするほどの事もなく、有難いことでした。



学童野球大会開催される

CS 委員長 加藤博

9月22日23日、第22回熱海グローリー杯争奪学童野球大会が、南熱海運動公園野球場にて開催しました。この大会は、熱海市市民体育祭と共催として、1997年、福島会長の時に、元阪神タイガース選手の大木 CS 委員長が、主導して始められたものです。当初は市内6チーム、現在では5チームで、6年生にとっては最後の公式戦となっています。



今年は始球式を藤曲 EMC 委員長が務め、第1試合は熱海少年野球チーム対熱海ラビットで試合開始となりました。近年は女子の活躍も目立ちます。監督さんからは強く言われても、親御さんからは無理しないように言われてる感じで、見ていてついつい微笑んでしまいますね。また、今後を担う、5年生以下の力強いプレーが観られます。次年度に向けたスタート地点でもあるんですね。優勝旗は熱海少年野球チームが獲得しました。記念品のボールは今年から新しい規格となり、重宝するようです。



来、ワイズの名前を覚えているそうです。毎年そんな子供たちが増えていく町が熱海です。更に、熱海クラブのキャンプ、スキー、ドッジボール等も盛り上げながら、ワイズダムの拡大をしてゆきたいものです。



「軌跡 丹那トンネル完成までのミステリー 幻の原稿」復刻版⑦

さて、丹那トンネルを語るとき、忘れてならない人がいました。それは、丹那トンネルの生みの親ともいえる人後藤新平です。



明治二十年ごろには、国内各地に国鉄・私鉄が建設されていました。山陽線は当時私鉄でした。

政府は、明治二九年に各地の私有鉄道を国有化することを決定し、明治四十年十一月一日、すべての国有化が完了し鉄道院が創設され、初代総裁に逋信大臣の後藤新平が就任しました。総裁は、国有鉄道の整備に情熱を傾け煉瓦の東京駅舎も完成させました。

しかし、日本の東西を結ぶ東海道線の最大のネックは、国府津―沼津間の急勾配で、補助機関車を付けないと坂は登れませんでした。

後藤総裁は、後藤総裁は東海道線の輸送力増強のため、国府津―小田原―熱海―三島―沼津の新線を考え調査しました。計画の丹那トンネルは、今までに工事経験を持たない複線型トンネルで、しかも、日本最長、旧火山帯という難所でありましたが調査の結果、技術的には可能と考え丹那トンネルの建設に強い熱意を持ち、工事着工の建設事務所を設けました。

しかし、政府部内では予算の関係で反対者が多く、又、「熱海に彼の別荘があるから工事に積極的だ。」と疑われて総裁の席を追われ工事中止命令が新総裁によって出されました。その後、熱海に別荘を持っている大隈重信内閣になって工事が再開されました。このとき、後藤新平の熱意が漸く認められ、丹那トンネルが生まれることになるのです。

参考文献「闇を裂く道」吉村昭

「幻の原稿」と記載されている謎

タイトルのミステリーに続いて「幻」とくれば」ワクワクしないわけがありません。

実はよく見ると先月号が NO ⑨とされているのに今月号には何も書かれていません。それはなぜか？

真実はこの原稿は「広報あたま」の1月号に掲載予定で書かれていたのに掲載されなかったのです。記事の内容に不都合があったわけではなく、単に紙面の都合(新年ですので他の記事が多かったと推測される)で無常にもパスされたのです。折角書いたのに！！

筆者のお名前は解りませんがご同情申し上げます。これを読まれるワイズの皆さんも今まで目にしていない可能性が高いということで特に注目して下さい。

